

## 審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第 15 期第 9 回男女平等参画推進審議会
開催日時	令和 2 年 9 月 30 日（水曜日） 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
開催場所	女性総合センター 第 2 学習室及び第 2 会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長挨拶</li> <li>2. 事務局より報告</li> <li>3. 議事 立川市第 6 次男女平等参画推進計画実施状況報告書（案）（平成 31 年度年次報告）について ・グループ討議</li> </ol>
配付資料	<p>資料 1 立川市第 6 次男女平等参画推進計画実施状況報告書（案） （平成 31 年度年次報告）（前回送付）</p> <p>資料 2 立川市第 6 次男女平等参画推進計画実施状況報告書 （平成 30 年度年次報告）</p>
出席者	<p>[委員] 加藤恵津子、佐藤良子、酒井美恵子、小柴ひかり、坂本澄子、小柳郁美、津崎結子、森林育代</p> <p>[事務局] 岡田幸子（男女平等参画課長）、夏目互（男女平等参画係長）、平野邦明、齊藤悦子（男女平等参画係）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加藤会長より挨拶があった。（内容は省略。）</li> <li>2. 議事 （1）立川市第 6 次男女平等参画推進計画実施状況報告書（案）（平成 31 年度年次報告）について ・グループごとに部屋を分けて討議を行った A グループ 第 2 会議室 B グループ 第 2 学習室（オンライン） ・委員からの意見等は、下記のとおり。  【質問・意見等】 [1] A グループ（基本テーマ I、IV、V） 基本テーマ I 男女平等参画と人権の意識づくり ＜男女平等参画課 1＞ ・啓発事業件数も講座等参加人数も減った。 ・2 月後半から新型コロナウイルス感染症対応が始まり、講座が中止にな</li> </ol>

ったことが影響したと考えられる。中学校の出前講座は 2 校分中止したので、参加人数への影響も大きかった。

・ P 83 の【市の報告】の 24 行目の「固定的性別役割分担『男は仕事、女は家庭』という考え方を持たない人の割合は、76.6%（平成 31 年度市民満足度調査）となり 31 年度の目標値である 72%を超える結果となりました。」はとても良い数字になっている。

・ アンケート満足度が前年度に比べ下がっている。なぜか理由が判るか？理由はわからない。

前年度の 94.5%は高すぎるのではないか。

⇒ アンケートを書いてくれる方は好印象を持って書いてくれ、悪い印象の方はアンケートを出してないとも考えられる。

<生涯学習推進センター 1>

・ パパと一緒に講座の対象になる子どもは赤ちゃんなのか。

⇒ 小学生ぐらいの子を対象とした講座もある。

<人事課 1>

・ 職員研修のテーマが LGBT となっているが、内容は限定的なのか？LGBTQ や LGBTQ+という表記にしないのか。

⇒ 内容は弁護士によるマイノリティに配慮する対応などである。最近の表現に変えるか、日本語表記の「性的指向・性自認」などにするか検討する。

<男女平等参画課 2><広報課 2>

・ 情報紙アイム 37 号は広報 12 月 10 日号と一緒に折り込むため同じものについて記載している。

・ 男性あるあるの内容は前号の女性管理職をテーマにしたものと対比的で、とても良い取り組み内容だ。

<広報課 2>

・ 広報紙全体にわたり男女平等社会の実現に向けた表記に気を付けていることは高く評価できる。

<指導課 3>

・ いじめ解消・暴力防止のアンケートの結果はどのように生かされたのか。

・ 人権教育の中で、先生や家族からのセクハラなどを告発できるような、「話していいんだよ」という教育が必要。

・ 教員研修の結果、何か変化があったかわかると良い

・ 関連で気になるのは、小学校の教科書である。固定的なお母さん像（エプロン着けてフライパン持つ）の絵のあるプリントが学校から配られモヤモヤしたという話を小学生のお母さんから聞いた。教科書のイラストをもっとジェンダー平等にしないといけない。

<男女平等参画課 4>

・ 講座から映画会に変更した。趣向を変えるのはとても良い。

・映画会のあとの意見交換があつて良かった。

<指導課 4>

・28人の参加者の内教員は何人だったのか。

⇒5人

・この研修を行うことで何か学校に変化があつたかわかる記述があるとよい。

<男女平等参画課 5>

・リプロダクティブヘルス・ライツの講座となっているが、女性の健康講座のみなので、もっと権利の内容が入ったものを実施してほしい。

・今後はWeb講座などを開催し、自分が参加していることを知られずに参加できるようにすると、生理のことや不妊治療などの講座にも参加しやすくなるのではないか。

<男女平等参画課 6>

・市内中学生への性教育及び暴力防止の啓発は大事なことなので、講座ができないならば、代わりにチラシ等を配布すると良いのではないか。

#### **基本テーマⅣ 配偶者等からの暴力**

<男女平等参画課 37>

・講座参加人数が増えて良かった。

・情報提供の方法として、パープルライトアップなどの取り組みを行ってみてはどうか。

<男女平等参画課 38>

・幼児に向けての講座では、連れ去り等の暴力だけでなく、性被害防止の内容を取り入れるべきと考える。

<男女平等参画課 39>

・民生委員・児童委員の参加が評価できる。

#### **[2] Bグループ（基本テーマⅡ、Ⅲ）**

#### **基本テーマⅡ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進**

<男女平等参画課 7>

・H30年度は『イクメン講座』となっているが、『パパ講座』に名称を変えた理由、市としての意図があるのか？

⇒昨年の男女平等参画推進審議会で、『イクメン』という表現が古くなったという意見があり、『パパ講座』として実施報告書に記載することにした。

<生涯学習推進センター 8>

・男性を対象とした家事・育児講座は、男女がともに家事育児に関わることを目的としていて企画内容はすごく良いと思う。しかし、家事育児にもともと関心のある人だけではなく、関心がない人も参加した方がより効果的だと思う。

<男女平等参画課 8>

・歌やバイオリンなど、普段の生活ではあまりふれることのないファミリーコンサートは良いと思う。また、市役所等で開催されるミニコンサートなどは子どもと一緒に気軽に参加できるのがよく、コンサートに参加するステップになっている。

・わらべうたは親子で取り組む大変いい講座だと思う。満足度も高く良い取り組みであると思う

<健康推進課 8>

・参加率がとても高くなってきているのがよいと思う。

<男女平等参画課 10>

・LGBTについての相談も行っているのが素晴らしい。

・男性相談やLGBT相談の周知の方法は？

⇒立川市役所とアイムの男子トイレに相談のチラシを貼付している。

立川市のホームページでは「性別に関わりなく」の文言を記載している。

・男性相談に関して、Twitterでの周知もした方がよい。

<男女平等参画・産業観光課 11>

・ワーク・ライフ・バランス認定事業所の認定目標数はあるのか？

⇒これまでの認定事業所は21社。年間3事業所を目標にしている。

・認定基準は厳しいのか？

⇒約50のチェック項目のうち3分野、10項目以上適合すれば認定できるので、特別基準が厳しいということはないと思う。チェック項目に関しては、社内規則などの参考書類の提出が必要となっている。

・応募数が少ないが広報活動に取り組んでいるのか疑問である。

⇒商工会議所や東京都立多摩職業能力開発センター等から企業を推薦・紹介してもらい、認定に繋がっている。

<産業観光課 12>

・30年度と31年度の担当課評価が同じなので、新しい取り組みをしてほしい。

<人事課 13>

・新規採用者への休暇制度の説明だけでなく管理職が部下へ休みを取りやすいように促してほしい。

⇒管理職を対象とした研修等では、休暇取得についての話をしている。

・今年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症対策として、いろいろな働き方で対策をしているはずだが今後も行ってほしい。

<協働推進課 15>

・相談件数が増えている原因は何か？

⇒これまでカウントしていなかった細かい相談も追加しカウントする方法に変更したため。

<子ども家庭支援センター 16>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達のごことは小さいうちから早く行くことが大切、相談が増えていることは本当に良いことである。</li> <li>&lt;保育課 17&gt;</li> <li>・駅に近い保育園は希望者が多く、駅から遠い保育園は少し余裕あるといったアンバランスがあるように思う。何か対策はしているのか？</li> <li>⇒立川市以外も同様と思われるが、駅前の方が認可保育園多く所在している。平成 31 年度は立川駅近くの幼稚園が認定こども園になっている。</li> <li>&lt;子ども育成課 17&gt;</li> <li>・学童保育が小学 3 年生になると入りづらくなるので、児童館ランドセル来館を増やしてほしい。</li> <li>&lt;子育て推進課 18&gt;</li> <li>・文京区で行っている『子ども宅食』のようなものを立川市でも実施した方がよい。</li> <li>・SOS を出せない人を救い上げるような施策はないのか？</li> <li>⇒保育園・幼稚園に行っている人は、子どもの状況を保育士等が気付く機会があるが、園に通っていない子どもはその機会がないので、そのような子どもを定期的に関係部署が連携して抽出し、関わるようにしている。</li> <li>&lt;協働推進課 19&gt;</li> <li>・リーダーが不足している。また、地域格差があるので研究が必要。</li> <li>&lt;保育課 21&gt;</li> <li>・出前保育実施回数が減っているのはなぜか？</li> <li>⇒次回までに確認をする。</li>   <li>3. その他</li> <li>・第 10 回審議会の開催日時は、10 月 29 日（木）19:00～引き続き 2 つのグループに分かれて審議を行う。 会場は第 2 学習室及び第 2 会議室 オンライン参加について、会議アプリケーションのライセンスの関係で 1 グループしかできないため、グループ討議のある次回も A グループの方は会場にお出でいただきたい。</li> <li>・第 11 回審議会の開催日時は、11 月 26 日（木）19:00～</li> <li>・第 12 回審議会の開催日時は、12 月 22 日（火）19:00～</li> </ul>
担当	総合政策部男女平等参画課男女平等参画係 電話 042-528-6801